

NPO法人大山中海観光推進機構のあゆみ (大山王国の活動のあゆみ 1997-2004も併載)			
(NPO法人は平成17年(2005年)に設立しましたが、それに先立ち官民の取組みとして平成11年(1999年)から大山王国の活動が始まりました。※準備は2年前からスタート。)			
NPO法人設立前の大山王国の取組み。(当初から、後のNPO主要メンバーが中心に関わり事業企画、実施をしました。)			
年度	事業の概要	備考	この年の主なトピックスなど
1997年 (平成9年)	大山山麓リゾート推進協議会(県と西部18市町村)が、地域活性化をハード事業中心からソフト事業への転換を狙い情報収集始める。 D-RAC(大山リゾートアクティビティークーポン)の発行が前年から始まり、大山山麓観光施設など民間のネットワークが始動。	県観光課主導 メンバー主導	夢みなと博覧会開催 インターネットが実質始動。 消費税率5%がスタート
1998年 (平成10年)	大山山麓の広域観光活性化について、後の「大山王国」につながる広域観光推進の企画を提案し、方向性が決まる。 大山山麓の観光事業者をネットワークして、「大山リゾートネットワーク」設立、官民で大山エリアの観光活性化策提案。	メンバー主導 メンバー主導	米子コンベンションセンター開館 日本列島総不況
1999年 (平成11年)	情報発信事業が先行する形で9月にホームページ「大山王国」稼働。毎日、旬の写真と地域情報サマリーを発信。メンバーが日々編集作業。	現在も継続中	とっとり花回廊開園 妻木晩田遺跡の全面保存決定
2000年 (平成12年)	大山山麓リゾート推進協議会がソフト事業を推進するため、「大山山麓リゾート・観光推進協議会」に組織名変更。 大山王国 4月1日建国 ホームページ(HP)の正式運用、大山王国ガイドブック(980円)の発刊。(地域の観光情報を網羅 5千部発行) 第1回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ)を皮切りに「大山ミュージックリゾート構想」が動きだす。 JR西日本誘客キャンペーン実施。	現)大山山麓観光推進協議会 5年間毎年発行。 大山ミュージックリゾート原点	鳥取県西部地震(10/6) 青谷上地寺遺跡で人骨等が出土 Google、Amazon始動
2001年 (平成13年)	大山王国ガイドブック第2巻(500円)の発行。(水木しげるさんのインタビュー記事など人物にもスポット当てる。3千部発行) HP、ガイドブックで掲載する新体験プログラムの開発。「ブナの森ウオーク」「ダウンヒルサイクリング」「カヤック」等。 第2回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ) かがり火や音楽を楽しむ。	主に大山レークホテルで始動	アメリカ同時多発テロ事件(9/11) 米子-ソウル国際定期便運航開始 倉吉未来中心開館
2002年 (平成14年)	大山王国ガイドブック第3巻(500円)の発行。(大山人・大山に魅せられた人たち特集、体験プログラムの充実 3千部発行) 第3回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ) 出演は小室等、八木のぶお、李正美 大山ミュージックリゾート「夏川りみコンサートinとっとり花回廊」開催 花回廊初の野外ライブ、この年の紅白歌合戦に“涙そうそう”で初出場。 継続して新体験プログラムの開発。「シャワークライミング」「スノーシューツアー」等を開発。	大山人(だいせんびと)注目 むきばんだ応援団とコラボ 夏川りみを応援 現在、森の国の人気プログラム	国民文化祭(夢フェスタとっとり) FIFAワールドカップ日韓開催
2003年 (平成15年)	大山王国ガイドブック第4巻(500円)の発行。(大山百景・写真コンテストの写真掲載、花、鳥を楽しむ特集など。3千部発行) 第4回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ) えま&慧奏、風我、La Birds(ラ・バードズ) 300人。 大山ミュージックリゾートの一環で「THE BOOM CONCERT」 大山まきばみるくの里芝生広場で野外ライブ初開催。(観客数3千人)	大雨のライブ、伝説に	全国野鳥保護のつどい ジャパンフラワーフェスティバル 水木しげる記念館開館
2004年 (平成16年)	大山王国ガイドブック第5巻(500円)の発行。(作詞家・岡本おさみさんインタビュー記事、達人が教えてくれる大山の体験情報:3千部発行) 第5回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ) 宇田川妙、うりずん、スマイリングスルー 250人。 第2回目となる「夏川りみコンサートinとっとり花回廊」開催 観客3400人。涙そうそう大ヒットで大勢のファンが集結。 大山ミュージックリゾート花回廊フォークジャンボリー(BSS、花回廊と共催)伊勢正三、大江千里、尾崎亜美、杉田二郎、中村あゆみ 4500人。 大山中海観光フォーラム(メーリングリストML)スタート。最大800人参加し日々情報交換、共有が地域全体で図られる。 NPO法人大山中海観光推進機構計画策定。	放浪詩人の貴重な記事 凱旋コンサート 伊勢正三プロデュース 現在も継続中 NPO法人設立へ準備	江島大橋開通
<b>NPO法人設立 (NPOが主体となってきた事業と、主体ではないがメンバーが中心に関わった事業がありますが、後者は(関)と表示し主なものを掲載。)</b>			
2005年 (平成17年)	NPO法人大山中海観光推進機構設立(6月) 理事長・石村隆男就任 発起人16人 安来市の和鋼博物館でキックオフのフォーラム開催。 地域情報誌「SEE!」の発刊 大山中海圏域のイベント情報などのフリーペーパー 年6回各4万部発行。(2012年まで7年間40回発行) ポータルサイト「大山王国」HPを大幅リニューアルし、データベースなど内容充実しNPO法人が運営を行う。 第6回大山王国夏至祭開催(大山レークホテル・大野湖畔で野外ライブ) 岩田英憲、ウエルム、島根ホルンクラブ 250人。 植田正治写真美術館で開催の福山雅治写真展「オマージュ」の企画協力 開催期間中運行のオマージュバス、オマージュガーデン企画運営。 山陰の風景を描いた便箋の制作。(寿城で販売用) 大山紅葉ツアー、美保関諸手船神事ツアーなど新しいツアープログラムの企画、運営。	地域の大人気フリーペーパー 現在も継続中	愛・地球博 市町村合併で県内19市町村に再編 中海がラムサール条約の登録湿地に
	(関)大山山麓を周遊するバス「大山るーぶ」運行開始。企画などについて中心に関わる。HPなどで広報活動。	現在も継続中	
	(関)中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会に参加。県境を跨いだ観光活性化事業について提言。ホームページ制作など。	現在も継続中	

2006年 (平成18年)	<p>ランドオペレーションセンター設置(米子市観光協会内に) 1年間の試行運用。</p> <p>大山王国メールマガジンの発刊(毎月2回) 約1000人の読者。通販の試行も。</p> <p>レンタサイクル事業(米子駅前地下駐車場) 10台購入し、観光客、ビジネス客などに貸し出し 2015年に運営を米子市観光協会に譲渡。</p> <p>D-RAC(大山リゾートアクティビティークーポン), JTB大山王国パスポート企画、運営など着地型旅行商品の充実を図る。</p> <p>第7回大山王国夏至祭開催(大野湖畔で野外ライブ) 桜井哲夫、岡崎倫典、山下玲美、米子フィルハーモニックプラスアンサンブル 350人</p> <p>大山・大神山神社奥宮幣殿で米良美一コンサート開催 ものけの森コンサート 全国から280人</p> <p>とっとり花回廊で大山ミュージックリゾート「夏川りみコンサート」涙そうそうが国民歌的な存在に 2年ぶりで恒例に 2500人参加</p> <p>山陰広域マップ(山陰遊悠絵図)の企画、制作、発行 毎年20万部～22万部 初回は大山から松江圏域の絵図</p> <p>中海宍道湖大山観光連携事業推進協議会ホームページ企画製作、運営受託 山陰ポータルサイト「神々のふるさと山陰」のタイトルも決める。</p> <p>ランドオペレーション事業充実。新緑満喫ツアー、ドラマチック大山ハーフデーツアーなど5つのプログラムを実施。計1200名の参加。</p> <p>(関)国道交通省・国土形成計画「民間イニシアティブを重視した地域振興方策に関する調査検討委員会」に参加し、調査活動協力。</p> <p>(関)日本風景街道の地域の取組みに参画。レーク街道推進会議、後の「山陰・湖水街道推進会議」で副座長役担当。</p> <p>(関)大山乳業カレンダー制作協力 5万部のカレンダー 関西、中国地方全体で配布。翌年から10万部に増刷される</p> <p>(関)大山賛歌フェスティバル(プロジェクト)の実施。大山賛歌「わが心の山」をテーマに様々なアレンジ、さらに演奏曲のCD化。</p> <p>(関)観光エコガイド養成講習企画運営。大山中海エコツーリズムの取組みが始まり、皆生旅館組合とNPO大山王国の共催で開催。</p> <p>(関)財団法人日本グラウンドワーク協会『グラウンドワーク・フォーラムin中海』『中海をみんなで地域の宝物に育てよう!』企画、運営協力</p>	<p>ツアーデスク原型</p> <p>現在も継続中</p> <p>2008年まで継続</p> <p>伝説のものけの森コンサート</p> <p>現在も継続中</p> <p>現在も継続中</p> <p>現在も継続中</p> <p>2012年まで継続</p> <p>BSS、大山町と協力</p> <p>日本エコツーリズム協会連携</p>	<p>全国スポレク鳥取</p> <p>鳥取砂丘・砂の美術館開館</p>
2007年 (平成19年)	<p>植田正治写真美術館 特別展「フォトステージⅡ」(福山雅治など5人の作家参加)の企画協力、ホームページの制作運営。カエルグッズ制作。</p> <p>第8回大山王国夏至祭開催(大野湖畔で野外ライブ) 尾崎亜美、小原礼、長尾ゆうたろう 450人。</p> <p>大山・大神山神社奥宮幣殿で千住真理子コンサート開催 150人 ヴァイオリンのみの生演奏(アンブラグド)。</p> <p>大山ミュージックリゾートin花回廊 伊勢正三、太田裕美、大野真澄、尾崎亜美、小原礼、ムッシュかまやつ、山本潤子 2300人</p> <p>エコツアープログラム「大山ブナの森の古道散策」や「ブナの大木スノーシューツアー」など開発。</p> <p>(関)国土交通省/仮想中間支援組織パイロット事業。</p> <p>(関)情報発信スキルアップ講習会の開催し、情報発信の大切さについての啓発活動を実施。</p> <p>(関)大山癒しの森フェスティバルで木村弓さんのコンサート(大山博労座広場) 協力。</p> <p>(関)大山中海隠岐エコツーリズム協議会設立に参加。大山寺と皆生温泉でツアーデスク設置、プログラムの企画運営など中心的立場で協力。</p> <p>(関)経済産業省の調査事業(地域資源を活用した新事業創出方策検討委)の中心的な立場で協力。</p> <p>(関)米子市観光協会ホームページ制作。</p>	<p>写真美術館が賑わう</p> <p>伝説の演奏会</p> <p>現在は森の国で継続実施</p>	<p>中海市長会発足</p> <p>和牛博覧会inとっとり</p>
2008年 (平成20年)	<p>内閣府の地方の元気再生事業にNPO法人自ら提案した「大山パークウェイプロジェクト」が採択され、9月から集中的に事業開始。</p> <p>国土交通省の「まちナビ」事業の採択も受け「大山パークウェイまちナビ協議会」を設置し、事業開始。</p> <p>大山中海エコツーリズム協議会のホームページ、大山パークウェイ協議会のホームページ制作・運営しさらなる観光情報発信。</p> <p>地域ブログ「じげブロ」の立ち上げと運営。年度末で500人参加。毎年参加者が拡大。地域情報発信(SNS)のインフラ的役割を担う。</p> <p>第9回大山王国夏至祭開催(大野湖畔で野外ライブ) 六子(LOCO) 大工哲弘 なんぼなんでも 350人。</p> <p>大山ミュージックリゾートin花回廊 伊勢正三・南こうせつ・イルカ 5000人 特別協力で運営に協力。</p> <p>(関)天空のリゾート活用プロジェクト(伯耆町商会・伯耆町観光協会)に協力。</p> <p>(関)国土交通省・観光庁の観光圏に中海宍道湖大山エリアが認定さ、「山陰文化観光圏」の事業が動き出す。企画などに協力。</p>	<p>全国的に注目を集める取組み</p> <p>エコツーリズムの活動盛んに</p> <p>現在も継続中</p>	<p>リーマンショック</p> <p>観光庁発足</p>
2009年 (平成21年)	<p>内閣府の地方の元気再生事業「大山パークウェイプロジェクト」が昨年度に続き継続事業として採択され、年間にわたって事業を進める。</p> <p>地域総合整備財団(ふるさと財団)の進める「e-地域資源活用事業(観光ユビキタス情報整備事業)」の支援でエリア全体の情報整備を進める。</p> <p>携帯に特化したイベント情報発信『山陰の旅 ケータイ案内所』開設 鳥取県の地域マネージャー事業実施。</p> <p>米子市内を中心に飲食店情報を整備し、市内ホテルなどの協力し紙マップと携帯サイト「い〜とも!ばいる〜食ツーリング」事業実施。</p> <p>大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげブロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約280万、ページビュー1100万。観光情報インフラに育つ。</p> <p>毎日新聞に大山王国のコラム「大山彩発見」を掲載 毎月、大山に関する様々な事象について提案、話題提供。</p> <p>ラジオ局FMくらしきで「なるほど ザ 大山王国」毎週金曜日出演 15分間出演し大山広域エリアの情報を岡山、倉敷に提供。</p> <p>第10回大山王国夏至祭開催(大野湖畔で野外ライブ) 六子、松本幸恵 &amp; 藍田月子 300人。</p> <p>大山ミュージックリゾートin 花回廊 伊勢正三、イルカ、中村あゆみ、山本潤子 3500人 特別協力で運営に協力。</p> <p>新体験プログラム「大山ダウンヒルサイクリング」と「大山スピリチュアルウォーク」など開発、モニターツアー実施。</p> <p>(関)鳥取・島根広域連携事業「中海・宍道湖・大山 花と緑のエリア創出共同事業」鳥取県側として実施。</p> <p>(関)SEA TO SUMMITT(9月開催 米子～大山)のイベント企画運営に協力。</p> <p>(関)中海市長会/中海圏域定住自立圏構想に協力。</p> <p>(関)食のみやこ鳥取 大山パークウェイのソフトクリームマップ作製、情報発信事業。</p>	<p>2010年まで継続</p> <p>2010年まで継続</p> <p>2012年まで継続</p> <p>2010年まで継続</p> <p>強力な地域情報サイト群</p> <p>2014年まで継続 計65回</p> <p>2013年まで継続</p> <p>現在、森の国の人気プログラム。</p> <p>現在も継続</p>	

2010年 (平成22年)	総務省・地域ICT利活用広域連携事業「障がい者・高齢者広域外出支援PF構築事業」を東京の団体と連携、県内バリアフリー情報の整備。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約440万、ページビュー1980万。さらにアクセス増える。 第11回大山王国夏至祭開催(花回廊で野外ライブ) 岩田英憲、上木ひろみ、Mizue 250人。 大山ミュージックリゾートin 花回廊 遊吟やnavy&ivory、たなたご、Beijy 1200人 特別協力で運営に協力。 (関)・とっとりバーガーフェスティバル(10月開催 大山山麓3会場)に協力。 (関)サイクリングロード整備検討会に参加。ツールド大山、中海一周サイクリングコース、弓ヶ浜サイクリングコースなど提案、実現へ。 (関)日本旅行作家協会総会(特別例会:米子開催)の企画、アテンドなど担当。前年には旅行ジャーナリスト・兼高かおるさん案内担当。	2011年まで継続	NHK「ゲゲゲの女房」ヒット境港賑わ
2011年 (平成23年)	地域ブログ「じげ風呂」(2008年開始)の普及活動を積極的に進め、参加者は3月末で約4500人(前年同期は3000人)。 大山王国フェイスブック(FB)の開始。こちらでも日々、地域情報発信。通常1記事に2千~5千アクセス。最高で3万超のアクセス。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約760万、ページビュー3870万。さらにアクセス増える。 「エコツーリズム国際大会2013 in 鳥取」の事業実施へ向け中心的な役割を担当 エリア全体の着地型旅行プログラムの企画を行う。 大山王国 柄木孝志写真展「大山サンライズ・サンセット」とっとり花回廊で開催。	現在も継続 地域最大のブログ 現在も継続 週3回程度更新 ページビュー数が最大に	山陰豪雪 東日本大震災発生
2012年 (平成24年)	鳥取県の「まんがが王国」関連で、携帯サイトを活用した「建国のレジェンド」事業を受託し、まんが~コンテンツビジネス事業に取り組む。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約830万、ページビュー3270万。さらに来訪者が増える。	来訪者最大に	中海・宍道湖・大山圏域市長会発足
2013年 (平成25年)	「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」の事務局として参画し、全体の企画運営について中心的な役割を担当。 大山王国の写真展、とっとり自然環境館の映像データ企画など、エコツーリズム関連事業を進める。 鳥取県の文化事業を受託で関西フィルハーモニー交響楽団「森の音楽祭(奥大山)」の企画運営、大山文学散歩のガイドマップなどの制作。 大山ミュージックリゾートin 花回廊 夏川りみ、稲垣潤一、小椋佳、ビリーバンバン3000人 特別協力で運営に協力 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約867万、ページビュー2716万。さらに来訪者が増える。 日本海新聞ではコラム「潮流」で大山広域エリアのトピックスや提案を7回(月1回)にわたって掲載。 大山王国写真展『大山が語りかけるもの』を開催 中国銀行本店(岡山)、米子全日空ホテル、皆生グランドホテル天水、イオン日吉津店 大山王国 柄木孝志 写真集『瞬』発刊 山陰のベストセラーに。山陰百景のポストカード制作。	大会を成功導く。 写真が注目される。	松江自動車道全線開通 出雲大社大遷宮 水と緑のオアシスとっとり エコツーリズム国際大会2013in鳥取
2014年 (平成26年)	「大山グルメフェア(山麓の24店舗参加)」をプロデュースし、大山の恵みなどについて物語形式で大山の魅力を紹介。「大山王国写真展」開催。 東京・渋谷のヒカリエで開催された東京カメラ部写真展で大山王国・柄木孝志の作品が大きく紹介され、大山を広くPR。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約800万、ページビュー1980万。訪問客がSNSに移行。 大山ミュージックリゾートin 花回廊 杉田二郎・堀内孝雄・ばんばひろふみ・高山厳・因幡晃 2500人 特別協力で運営に協力 大山山麓観光推進協議会の事業でモニターツアーを3件企画。紅葉の『大山風景街道』ガイドツアー、心しみいる境旅、里山サイクリング南部。	大山の恵みの食アピール	消費税が5%から8%に増税 大山隠岐国立公園に三徳山編入
2015年 (平成27年)	とっとりバーガー応援プロジェクト実施し、県内のバーガーのレベル向上を図る。 大山エリアの日本遺産の申請に向けての取り組み、平成30年度の大山開山1300年祭にむけての準備委員会に中心的に関わり事業推進。 鳥取県の観光案内スマホアプリ「とっとり」の企画・運営。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約790万、ページビュー1700万。訪問客がSNSにさらに移行。 大山ミュージックリゾート(米子コンベンションセンター)森山良子、夏川りみ、イルカ 満席の2000人 特別協力で運営に協力。 (関)大山開山1300年祭準備委員会 (関)日本遺産検討会	産業振興機構支援事業 現在も継続中	作詞家岡本おさみ氏の話も
2016年 (平成28年)	平成30年度の大山開山1300年祭にむけての準備委員会・スーパーバイザー業務を担当し、具体的なプランを提案。 大山王国HP、山陰ポータルサイト、じげプロなど、NPO法人運営サイトの来訪者約650万、ページビュー1450万。SNSにさらに移行。 大山王国・柄木孝志の東京・渋谷ヒカリエでの東京カメラ部の写真展出品、JR西日本のカレンダー等の掲出で、当地の魅力の情報発信。 大山ミュージックリゾート(米子コンベンションセンター)大橋純子、小椋佳、海援隊 満席の2000人 特別協力で運営に協力。 日本海新聞にコラム「大山とともに生きる」10回にわたり掲載し、大山開山1300年祭に向けて意識啓発を図る。 (関)大山開山1300年祭準備委員会／実行委員会 (関)大山環状道路自動車利用適正化社会実験協議会 (関)環境省・大山隠岐国立公園満喫プロジェクト地域協議会	「瑞風」の撮影も担当	山陰インバウンド機構発足 鳥取県中部地震 大山が日本遺産認定
2017年 (平成29年)	NPO法人としての活動は3月末で停止。ただし、大山王国ホームページなどインターネット事業はジャブロが主体になって任意のチームで継続。広域マップは地域未来が継続。 7月末でNPO法人解散。		